

自治体・協議会名	岐阜県地域公共交通協議会
評価対象事業	地域間幹線系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・燃料価格高騰分の支援やコロナ禍における事業者支援、また、DXの推進に係る支援など、公共交通の確保維持に努められたことを評価します。
- ・令和5年10月開院の西濃厚生病院について、県協議会や小部会にて輸送手段の確保に係る協議等を実施されたことを確認しました。
- ・運転手不足の課題を解決する手段の一つとして注目されている「自動運転」について、自治体向け勉強会を開催されたことを確認しました。
- ・運転手不足への対応として、事業者の課題・要望を共有し、他部局と連携し人材確保に向けて支援制度の活用等について協議されたことを確認しました。

期待する取組

- ・東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合に向けては、引き続き、関係者と連携し、協議会の小部会等を活用し、来院者等の輸送手段の確保について協議や調整が進められることを期待します。
- ・市町を越えた課題を解決する仕組みを公共交通計画に記載し、継続的に取り組まれることを期待します。
- ・輸送量や収支率が低く、維持が危ぶまれる地域間幹線系統については、現状の把握や課題の整理を行うとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向けた関係事業者や沿線自治体等と連携した取組の実施に期待します。
- ・地域間幹線系統の必要性やあり方、維持方策など県の考え等については、各市町村の協議会にて共有し、話し合い、その内容に応じて計画に反映される仕組みが計画に位置付けられることを期待します。
- ・運転者不足や運転者に係る働き方改革の動向も踏まえながら、国、市町、事業者等と連携しながら人材確保に係る取組や支援を進められることを期待します。
- ・自治体のGTFS形式によるオープンデータ化など、引き続き、交通DXの促進に向けた取組に対する支援に期待します。